

激痛の中、松本先生を信じ治療を継続。

快方へ向かわれている方の途中経過。

「いにしえの跡（リウマチ性多発筋痛症手記）」

加藤淑子 63歳

2015年12月30日

この病気になって、信じることの難しさを知りました。究極の痛みに対して何度も“本当に治るのか？”、“ステロイドに戻ろうか？”すごく苦しい心の格闘と、壮絶な痛みとの闘いであったから……。家族の助けがなく一人だったら負けてしまっていたかもしれません。私は結構我慢強い方ですが、それでも夫に「死ぬほど痛い」と漏らしました。全身の痛みと苦しさは、身も心もボロボロにしました。リウマチ性多発筋痛症、この病気になった時、“なぜ私が……”と思いました。その時、頭の上から（前世で凍死したからだ）と聞こえてきました。私は人より勘が鋭い、だから今世で体が硬くなる病気になったのだと思いました。前世のこの歳に死んでいるんだあ、不思議な気がした。そして、小さい時からの人生で色々思い当たることが全部解けました。先生との前世も見ました。その時も松本先生は薬草の研究をしていて、毎日山へ薬草を取りに行きました。私も薬草を煎じて人々に配っていました。だから今世でも先生が怒鳴っても、ぶっきらぼうでも、偏屈でも、微笑ましく思えるんだと思います（笑）

この病気は2012年11月末の朝、突然首と腰に異様な痛みを感じたことから始まりました。痛みが始まる前には2週間微熱が続き、近くのお医者さんに行きました。先生に「風邪ではないような感じがします。体がだるく、微熱が続いています」と言っても、「ただの風邪です」との診断でした。「炎症反応も風邪程度です」と、言われ、“こんなに辛いのに……”と思いました。

知人の看護師さんから「すぐに大きな病院へ行った方がいい」と勧められ、すぐに日赤へ行きました。そこには専門のリウマチ科がなく神経内科へと通されました。実際、私も何の病気かもわからないのに不安でした。検査が始まり、髄液まで採られましたが、一か月经っても病名はわかりませんでした。体中が痛く、近くのマッサージに行ってみたところ、「あなたと同じ症状の方が見えています。」と、丁寧に病名と内容のコピーを頂きました。それを日赤に提示すると、やっと病名が分かり、プレドニゾロン30ミリから治療が始まりました。

薬を飲むとすぐに痛みが和らぎ、1年半かけて8ミリまで減らした時、何だか気持ちが塞いでいくような変な気持ちになりました。“鬱かも”、“やばいかも”と思い、ステロイドについて書かれた本を読むと、上記の症状も出るとのことでした。『お医者さんが身内には飲まない薬』で調べると、ステロイドも出ていました。慌てて他の方法がないか調べたところ、ネットで松本先生の理論を見つけ、「これだ!」と感じました。

2014年6月、大阪の松本医院を訪ねました。初診は院長先生の息子さんが担当され、とても丁寧に説明して下さいました。私は心の中で、(毎日患者さんに同じことを話しているんだなあ、大変!)と思いました。

そして治療が始まりました。さあ、何もかも知らないことばかり、漢方の水の加減、痛みのリバウンド、細かいところまで手探りで、何度も苦労しました。リバウンドがいつ来るのか、他の方々の手記を何度も見て、日数を確認しました。

リバウンドは2ヵ月が経ってもまだ来ず、3か月経った9月の2日にととうやってきました。激しい痛みで、だんだん体力もなくなり、体重も7キロくらい減り、立てなくなりました。自営なので仕事時間は自由でしたが、それでも1週間くらい休みました。仕事をしては途中で帰る、その繰り返しでした。痛くても食事だけは作りました。夫は、掃除洗濯を担当し、娘は立っていない時に食事を担当してくれました。ありがたかったです。痛みの波は様々で、なるべく自分で動くようにしましたが、仕事の時も横にならないと体力が持ちませんでした。なぜ休まなかったかという、仕事をしてないと起き上がれなくなる気がして不安だったからです。

2014年12月31日、やはり激痛が襲ってきました。起き上がれず、娘と息子のお嫁さんが協力してくれ大晦日を過ごしましたが、お嫁さんは私を見て泣いていました。(大丈夫、きっと良くなるから、他の人もみんなこうして戦っているのよ。それで治っているから)みんな松本先生を信じて頑張った人は勝ち組だ。いつまで続くのだろう・・・

2015年3月の診察の時、ある人の手記を読んでぞっとしました。私よりも遥かに凄まじく、一人で戦われた人の手記を見て衝撃を受けたのです。その手記の内容は、今でも脳裏から離れません。あんなに酷くても生きていられるのか、それほど先生の事を信じて頑張っているんだと、勇気をもらいました。

私なりに色々な事を試しました。貝を食べた時に楽になれば続け、お風呂で入浴剤を入れて楽になれば続けて、もちろん漢方風呂もやりました。結局お肉より野菜を食べ、ストレスフリーで過ごすことが大事、そう感じました。

2015年6月、季節が暖かくなったせいか、少し楽になったかなと思いました。また先生の診察を受ける月、大津で孫たちと一泊し、電車で高槻へ向かいました。楽しい旅行を兼ねての受診でした。悪玉菌(ヘルペス)が100に減っていました。基準値は2以下なので、まだまだですが、下がると元気が出ました。遊びを兼ねて先生の所にお邪魔するので、ストレスを感じないのかも

しれません。温度が暖かいと調子が良いですが、まだ杖がいらいます。見かけは40代？

2015年9月またヘルペスが185に増えました。(なんで?)9月2日、また激しい痛みが襲ってきました。でも何となく、(これが最後かな)、そう感じました。孫の運動会があり、なぜかその時とても体が楽になりました。9月末、(この程度の痛みだったら、一生あっても大丈夫だわ)、そんな風を感じるくらい楽でした。しかし、次の日にはやはり痛みが戻っていました。かわいい孫の運動会で心が和んでいたからかしら。心の薬だったのかもしれないね。

2015年12月、この日は先生の診察を受けるまでに5時間かかりました。ヘルペスは123になり、この頃から何か楽になったように感じました。痛みがいつもあるので、良くなっているのか、変わらないのかは、分かりませんが、痛みの薄皮は、確実に1枚ずつ剥がれていっていると思います。ある時ふと気がつきました。あれ?そういえば以前は下に落ちたものも拾えず、ブラもつけられず、階段も補助が要り、地べたにも座れませんでした。今は全部できる!と。(良くなっているじゃないの)、本当に少しずつだから分かりませんでした。確実に良くなっている。今でもほぼ毎日鍼に通っています。頑張った甲斐がありました。11軒の鍼灸院を渡り歩き、セクハラにも合い、ヤブばかりでした。今の鍼灸院に落ち着いてからは、気がつけば楽になっています。

先生を信じてよかった!もう少しです。本当に楽になっています。漢方の味も毎日違い、水加減も大変です。煎じるのは夫の役目で、私が絞る役です。毎日よくやってくれています、ありがとう!

先生との出会いは間違っていなかった!松本先生に命をもらいました、ありがとうございます。

(松本先生に心から感謝を込めて!)